

#8 エンジン組み立て！ 2022年2月

コロナ禍で遅れている製作作業。オーナー生徒の卒業間際の1月末、コロナ第6波の拡大により土日の部活動が禁止となってしまいました。メンバーの集合すら難しい中、隙間時間を見つけてエンジン組み立てに挑みました。



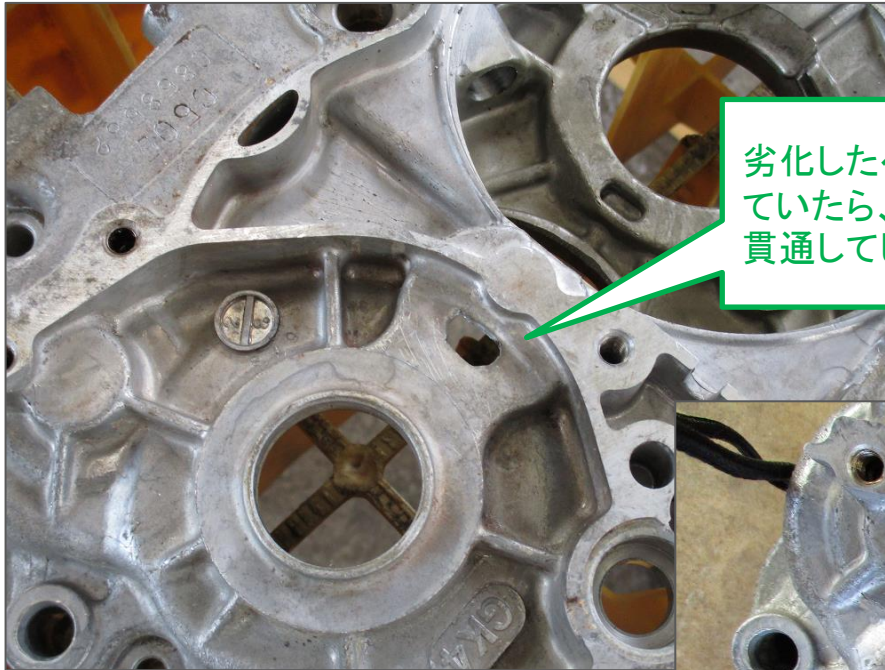
オイルストーンで、
ガスケット剥がしと面出しをします



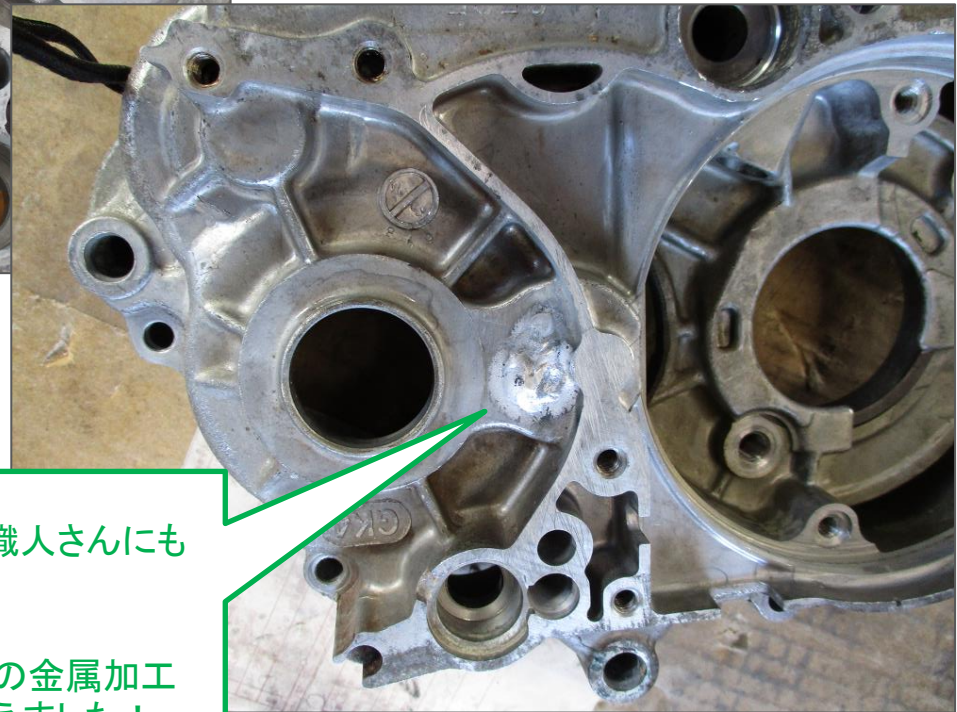
バルブは摺り合わせをした上で、
燃焼室に灯油を注いで漏れのチェック



傷だらけだったピストンとピストンリング
は新品に交換



劣化したベアリングを抜こうとコンコンやっていたら、クランクケースの肉薄の部分を貫通してしまいました！

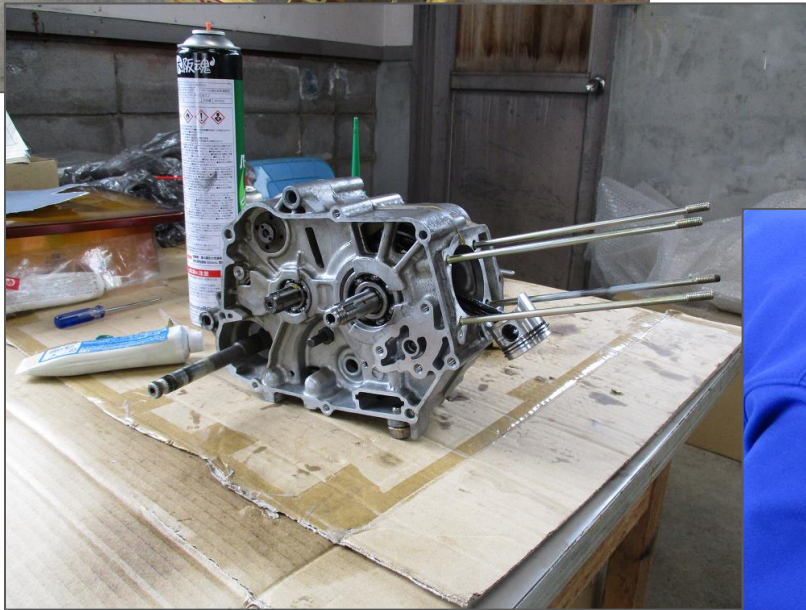


アルミ鋳物の溶接は非常に難しく、プロの職人さんにも断られることがあるほどです

ダメ元で溶接職人さんがいるという立山町の金属加工の会社をお願いしたところ、快く直してもらえました！



ベアリングを交換し、トランスミッションを組み込んでクランクケースを閉じます



ピストンリングを縮めながら、慎重にシリンダーに挿入します



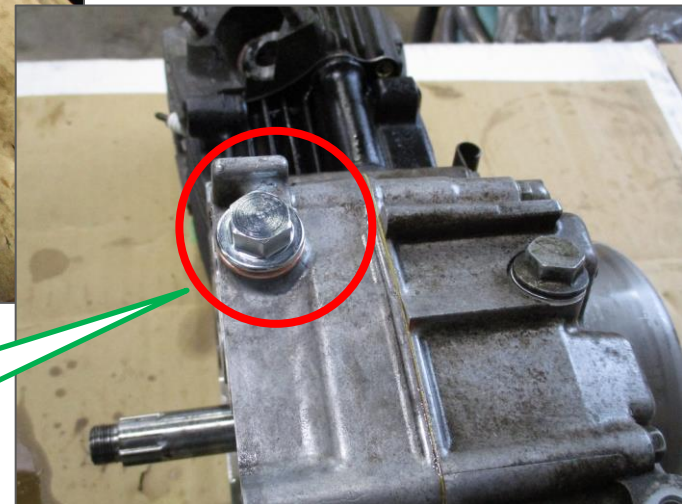
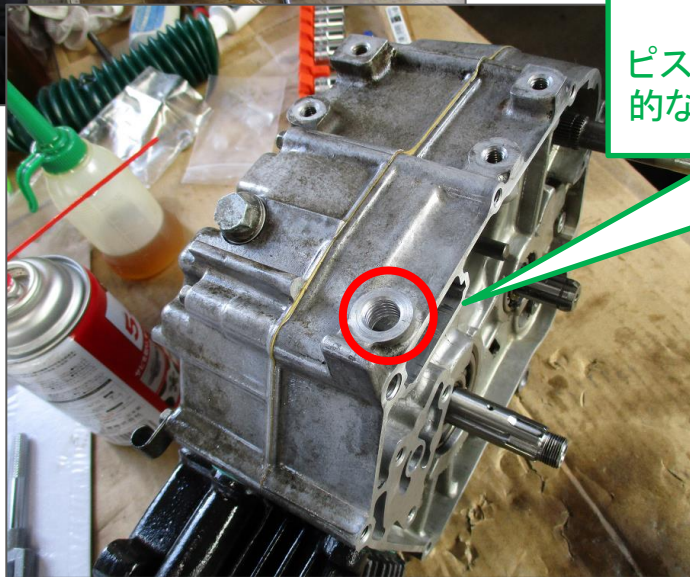


シリンダーヘッドを装着します

ここまでは順調

なんとこのタイミングで、ドレンホールのネジ穴が潰れているのを発見！

ピストンが焼き付いた原因は、おそらく日常的なオイル漏れだったようです



タップを切り直し、1サイズ大きいドレンボルトを装着して何とかしました

カブヌシへの道

~building with you.~



その後はキャブレターをオーバーホールし、バッテリーを装着し、車体へのエンジン搭載に備えます





数ヶ月ぶりにエンジン搭載！

こうして3月初頭にエンジン搭載にこぎつけました。
今後は補機類と電装系を装着すればエンジン始動ができます。
当初の目標であったオーナーの卒業式には間に合いませんでしたが、
あと少しで完成です。